

Meiji Univ. Harmonica Society
No.118 Regular Concert.

On The Road Again



1991. 6. 1 (Sat.)

at Yomiuri





部長 北島 忠男

1991年は、イラクにたいする多国籍軍の軍事行動によって始まったとあってよいでしょう。多国籍軍のハイテク兵器による攻撃が世界の耳目を集めた湾岸戦争も、2カ月足らずで終了しましたが、この戦争は、あらためて、国際社会のなかでの日本の在り方を問い直す、大きなきっかけとなりました。

これからは、今まで以上に、あらゆる面に亘って国際化が進められていく時代になっていくことと思います。ハーモニカ・ソサエティーが演奏する音楽などは、むしろ、その先駆けをつとめるものかも知れません。この春も、多くの新入部員を得て、ソサエティーも益々盛んなクラブ活動を展開しています。学生諸君が、クラブだけでなく大学での生活のすべてを通じて、国際化に順応できる知性や感性を養って大きく育ててくよう、われわれも努力しなければなりません。今宵、春の定期演奏会において頂いた皆様におかれましても、今後とも、いっそうのご支援を賜りますよう、心から、お願い申し上げます。



OB会会長代理 浅野 芳昭

大正7年創部以来の永い伝統をもち、卒業した部員も数百名を超えます。この歴史の中にそれぞれの時代、それぞれの青春がいまなお息づいております。

時代によって編成も変わり、楽器も変わりました。演奏曲目も全く変わっております。

しかし音楽を愛し、平和を願う心は変わりません。

現役の諸君も同じ気持で頑張っております。

先輩から後輩へと引き継がれたこのスピリッツこそ、本日の定期演奏会での、皆様への贈物です？

どうか心ゆくまで、お楽しみ下さい。

私事に亘りますが、永年OB会会長として、OB会と後輩の指導に尽力された布施莊兵衛さんが、昨年他界されました。その御苦勞に感謝し御冥福を祈ります。



幹事長 戸田 武重

本日は、明治大学ハーモニカ・ソサエティー第118回定期演奏会に御来場頂き、誠にありがとうございます。

この118回という長い歴史の中で、我々が指揮した期間は、ほんのわずかなものです。また、内容においても、かつての諸先輩方とは比ぶべくもありません。しかし、我々は、微視的に見れば、我々の存在が、明大ハモソの一時代を築いたこと、また、巨視的に見れば、明大ハモソの長い歴史の一端を担うことができたことを誇りに思っています。

さて、今春も、多数の新入部員を迎え入れました。彼らもまた、明大ハモソの新しい歴史に貢献してくれるものと確信しています。

どうか皆様、これから部を支える若いエネルギーと、大学生活をハモソに賭け、今宵をもって引退する我々4年生との、まさに一丸となった演奏を御聞き下さい。そして、更なる明大ハモソの発展に御声援頂きたく思います。

最後になりましたが、この演奏会の開催にあたり御指導・御支援を賜りました諸先輩、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。



1 噂のアーパーストリート

music : スターダスト・レビュー
arr. : 蓼沼和歌子

2 コペルニクス

music : BASIA
arr. : 内田健太郎

3 ラグタイム

music : R. Newman
arr. : 高橋 優子

4 Spanish Red

music : SPICK & SPAN
arr. : 渡辺 泰久

5 NO MORE BLUES

music : A. C. Jobin
arr. : 蓼沼和歌子

6 I write the songs

music : BALLY MANILOW
arr. : 関 彩子

2nd Stage

What a wonderful World
Theme & Europe
Thank you Mr. Poobath
Sweet Love
The Beatles
Quintet



